

親子聖書日課

NO.1890 2024.12/15-21

名前

[日]主は私達が悔い改める前から、十字架で全ての罪を赦して下さいました。それが「恵みの御業」です。ただ、その赦しを頂くためには、悔い改めて、バプテスマを受け、教会生活を第一とし、御言葉に聴き従うことです。主の祝福に与れるでしょう。

[月]終わりの日には、全ての国民が主を礼拝し、主の教えに従い、主が全地の裁き主となって、平和がもたらされます。この預言が実現されるために、「神の家に行く」「主の光の中を歩む」ことです。礼拝を捧げ、御言葉の聴従こそ、平和の鍵です。

[火]生活の糧が奪われ、指導者が失われると、無政府状態に陥ります。その原因は「主に敵対し、栄光のまなざしに逆らった」からです。裁きの宣言の中で、「主に従う人は幸い」と言え、と勧めます。主に従うなら、心豊かな社会が実現します。

[水]主が丹精込めて育てたのに、「実ったのは酸っぱいぶどう(イスラエルの民)でした。それは悪臭を放ち、食べることができない、有害無益なものです。私達も御霊の実を結ばないで、クリスチャン臭くなっていないか、吟味し、主に繋がりましょう。

[木]家や土地を独り占めしたいという貪欲さの結果、彼らが得たのは、廃墟であり、貧困でした。「万軍の主は私の耳(の中)に言われた」のは、この貪欲さが他人事ではないからです。それらは、独り占めではなく、分かち合うために与えられたのです。

[金]沢山の人が神殿の主の声を聞きながら、その招きに「私はここにおります。私を遣わして下さい」と応えたのは、イザヤだけでした。誰でも主の証人として招かれています。自分の救いだけで満足してはいけません。第二のイザヤになりましょう。

[土]「落ち着いて、静かにしていなさい。恐れることはない」これは危機に直面した民に、主がいつも語りかける言葉です。主が勝利を与えて下さるので、主に全てを任せなさいという意味です。そうすれば、恐れは消え、力強く歩むことができます。



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 1:21-31	どんな者は、恵みの御業によって贖われますか。	
月	2:1-22	ヤコブの家よ、主の何の中を歩むべきですか。	
火	3:1-26	主にどうする人は幸いと言えますか。	
水	4:1-5:7	しかし、実ったのはどんなぶどうでしたか。	
木	5:8-30	万軍の主は私の何に言われましたか。	
金	6:1-13	イザヤは「私がここにおります。私をどうして下さい」と言いましたか。	
土	7:1-25	落ち着いて、どうしているべきですか。	
	感想と祈りの課題		